

名古屋アイリスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS

ロータリーを実践しみんな豊かな人生を

Engage Rotary Change Lives

2014-15 年度国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン

例会日:毎週水曜日 13:00~14:00

例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋

創立:2013 年 6 月 5 日

会長:荒山 久美



■ 斉唱

「我等の生業」

■ 出席者報告

会員数 : 33 名

出席者 : 29 名

出席率 : 87.87%

前々回 (第 57 回) 修正出席率は 96.96% (32/33)

■ 本日のゲスト・ビジター紹介

名古屋北 RC 田嶋好博 PDG 名誉会員

名古屋北 RC 浦野三男特別代表

名古屋北 RC 水野吉紹名誉会員

■ ニコボックス報告

荒山会長

田嶋 PDG (パストガバナー) ようこそお越しいただきました。岩崎さん、卓話お願い致します。

安井会長エレクト

会社の慰安旅行でグアムに行きました。

頼みもしないのにゴルフを 35℃の中させられました。死ぬ思いでした。5 日から 10 日までは開田高原でプレーをしています。二度とグアムではゴルフはしません。

八神 基会員

岩崎さん、お話し楽しみです。

■ 会長挨拶

9 月 7 日 (日) 15:30~20:00 までキャッスルプラザホテルに於いて、地区開催の青少年サミットがありました。私と藤森幹事の 2 名で出席しました。先週の卓話で

安井会長エレクトから青少年奉仕について概ねご説明いただきましたが、4 つの青少年奉仕について、私も昨年、今年と出席して勉強してまいりましたので、皆様に報告したいと思います。

先ず、インターアクトについてですが、愛知県内には 15 のインターアクトクラブがあり、ロータリークラブ、ロータリアン、各高校の担当教員と生徒達で募金活動、清掃活動、障害者支援等のボランティア活動を実施しています。一時期は参加人数の減少がありましたが、震災の影響なのかボランティア活動自体に興味を持つようになり現在は増加傾向にあるそうです。年次大会では各インターアクトの報告を行い、また海外派遣もあり、今年オーストラリアのパスに出掛け、7 日間のホームステイ、現地の高校生との交流等を通して短期間ではありますが、異国、異文化に触れる機会を与えてくれているようです。

2 つめは RYLA セミナーについてです。これは若手指導者育成プログラムで、18 歳~30 歳のこれからの時代を担う若い人たちに指導者としての資質を伸ばす場を与えるプログラムです。私個人としては自己啓発セミナーに協調性とリーダーシップを養う力をプラスするよう感じかなーと思ったのですが、当クラブの会員は既に年齢制限を超えていますので、どなたかお子様、或いはスタッフの方に自己犠牲を払って参加し、このクラブでどんなものだったかを直に卓話していただけないでしょうか？

3 つめはローターアクトです。2760 地区には 9 つのローターアクトがあり、ロータリークラブの前身が JC なら、ローターアクトはそのまた前身といった感があります。30 歳までの年齢制限があり、こちらも若き指導者育成が主な目的で、将来その実績を携えてロータリアンなってほしいという願いも含まれています。当クラブを含

む 12 のクラブが名城ローターアクトを支援しています。毎月 2 度程度の頻度でロータリークラブ同様の例会を実施しております。北 RC や葵 RC と合同で例会があったことは覚えていらっしゃるでしょうか？今年度もございますので、出席をお願い致します。また、奉仕プロジェクト委員長を兼任しています安井会長エレクトに「行け！」と命じられたローターアクトの活動に参加して下さい。

4 つめは青少年交換です。皆様も恐らくこれだけはよくご存じと思いますが、日本の高校生を海外へ 10 ヶ月～1 年間派遣し、同時に海外からの高校生を日本のご家庭で預かり、学校で言語力を習得するだけでなく、異文化学習をしていただき、将来日本とその国との架け橋的存在になっていただきたいという願いが込められています。2013-2014 年度は日本から 9 名の高校生がフィンランド、ドイツ語圏のスイス、フランス、アメリカ等に派遣されました。9 名全員の体験報告を聞いてまいりましたが、多様な国々へ留学していること、目がキラキラと輝き自信に満ちたスピーチは、ロータリーが長年に亘って継続奉仕をしている素晴らしい結果と評価出来ました。いつか当クラブもホストクラブにはと思いますが、お世話をしてくださるホストファミリーが絶対的に不足している問題から解決しないといけません。先ずは、北 RC さんの前例を学習していきたいと思います。

■ 卓話

岩崎会員

今日は岩崎会員から卓話を頂きました。卓話の原稿を頂き次第 WeeklyReport に掲載させて頂きますのでご了承ください。

片桐栄子会員 (8月20日卓話の要旨)

今日はこの場で卓話させていただく機会を得て、自社のことを顧みるとともに、自分自身を見つめ直すいい機会になりました事を感謝させていただきます。

皆様本屋に行ったことがないと言う人はあまりいないと思います。

1 度や 2 度はご利用されたことがあるのではとおもいます。その割にはあまり実情は御存知ないのではとおもいます。

元々、旧金山駅にて書店 売店の商いをしていました

が、新駅ができることにより移店致しました。

名鉄 JR 地下鉄 の総合駅建設される計画が 10 年近くものびて平成元年にオープン運びとなりました。我が社も現在で創業 25 年となります。本店は名鉄の 2 階にたった 10 坪のお店でスタートいたしました。

周りに何もないせいもありまだ景気も良くお店の経営は順調でした。それこそ、寝る以外はズーっとお店にはりついて、やればやっただけの手ごたえを感じていました。

今おもえば一番楽しい時であり、充実した私のなかでの現在の元が形成されたときだとおもいます。

朝から晩まで大好きな本に囲まれお客様と対応して、私がいなければこのお店は回らないんだという自負のもと頑張っていました。10 坪しかない書店には悲しきかな思い通り本が入荷しません。1991 年宮沢りえのサンタフェという写真集が発売されたのを覚えていらっしゃるかもおありかと思いますが、当店でさえ予約の電話が鳴りっぱなしでした。しかしわが店には 1 冊の入荷もありませんでした。本当に悔しくて大型の書店へ買いに走りました。もちろん書店だということを隠して。厚く積んである写真集を恨めしくおもいました。そこで書店組合とか異業種交流会などに出席して勉強を重ねました。まず書店は委託制度 再販制度 (1 つの商品について全国统一販売価格で販売を行う) 守られています。書店に配送された本は勿論店頭と並べられますが売れないと返品します。出版社 取次(問屋)としてはなるべく売る力のある大きな書店に本を回したいところがあります。

取次も大手の出版社もそうですが、うちのようないさな本屋 には目もくれません。全国に出版社は約 4500 社あり取次は、日版 東販 という 2 大取次が力を持っています。

そこで私は 2 番手の出版社を徹底的に回り営業の方達と友好を重ねました。お店の売上実績を持ってこの本が何冊入荷して何冊売れたとか。もし何冊入荷していれば売る自信があるとかデータをもって回りました。

そしてその出版社からベストセラーが出たりすると、電話 1 本で本を手配して頂けるようになり

そんな努力をしながら着実に売り上げを伸ばしました。もちろん入荷した本は責任を持って売り切る努力をしました。

5 年後金山駅の南側に 2 店舗目をオープンしました。

出版社の方とも本当に仲良くしていただき、出版社同士は情報交換などをしたりして、とても仲がいいんですね。ですので次から次と輪が広がり、出版社さんには名が知られるようになり、そうなると大手もしかり、取次にもある程度認知され本もある程度は入荷するようになりました。

そして金山にアスナルという商業施設が出来、3店舗目のお店を持つことができました。

最後になりますが、皆様も良い読書のお時間をお過ごしください。本屋は読者と本の架け橋となれるよう、お手伝いをさせていただきます。

■ 幹事報告

1. 次回 9 月 17 日（水）の卓話は須賀会員にお願い致します。